



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場取引所 大

上場会社名 サンコール株式会社
コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田茂次
問合せ先責任者 (役職名) 業務・管理部門長 (氏名) 和田英夫
四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日

TEL 075-881-5280
平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,883	△8.1	614	△59.9	499	△63.4	262	△67.0
23年3月期第2四半期	16,196	28.9	1,531	143.8	1,363	118.4	796	156.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 48百万円 (△91.0%) 23年3月期第2四半期 534百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.30	8.23
23年3月期第2四半期	24.43	24.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	32,413	24,890	76.4
23年3月期	34,113	25,077	73.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 24,769百万円 23年3月期 24,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△3.3	2,300	△11.7	2,300	△6.9	1,400	△2.0	44.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Suncall Technologies(SZ)Co.,Ltd. 、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	34,057,923 株	23年3月期	34,057,923 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,411,637 株	23年3月期	2,411,373 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	31,647,084 株	23年3月期2Q	32,615,509 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 製品区分別の売上業績	10
(2) 海外売上高	11

※ 当社は、11月に投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で急激に落ち込んだ生産活動は第2四半期に入り、サプライチェーンの正常化とともに回復局面となりました。しかし、夏以降から続く急激な円高による日本企業の経営環境の悪化や、海外経済の先行き不透明感の高まりから回復のテンポは緩やかなものに留まりました。

米国経済は緩やかな回復基調にありましたが、失業率が高止まりし、住宅市場の低迷などの懸念材料が長期化しています。また金融政策及び財政政策も手詰まりの状態にあり、景気下振れの不安が払拭されるに至りませんでした。

欧州経済は、ユーロ圏経済のけん引役であるドイツ、フランスの成長が減速している中、ユーロ圏のギリシャ支援への足並みの乱れから、ギリシャ発の金融危機が世界経済全体に影響を与える懸念が一段と深刻化しました。

一方、世界経済のけん引役である中国の景気は高い水準で推移したものの、緩やかに鈍化しました。また、米欧経済の不振により中国からの輸出が減速する懸念も出てきました。

当社グループにおきましては、震災からの回復基調となりましたが第1四半期の落ち込みを挽回する水準には至りませんでした。加えて、超円高により収益面でも苦戦を強いられました。

このような環境の下で当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は148億83百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益は6億14百万円（前年同期比59.9%減）、経常利益は4億99百万円（前年同期比63.4%減）、四半期純利益は2億62百万円（前年同期比67.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

<日本>

日本では震災で落ち込んだ業績は回復局面にありますが、第1四半期の落ち込みをカバーするまでには至りませんでした。結果として、売上高は121億87百万円（前年同期比8.7%減）、セグメント利益は8億85百万円（前年同期比46.0%減）となりました。

<米国>

米国子会社の自動車精密部品が震災の影響によるお客さまでの生産調整から売上が大きく落ち込みました。光通信部品についても市場での需要が落ち込みました。結果として、売上高は9億8百万円（前年同期比22.2%減）、セグメント損失が78百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。

<アジア>

プリンター関連部品では、香港子会社の売上は好調でしたが、ベトナム子会社及びタイ子会社では前年同期を下回り、利益面でも落ち込みました。自動車関連精密部品では、中国子会社は米国子会社同様、震災の影響で売上が大きく落ち込みましたが利益面では改善されました。結果として、売上高は29億25百万円（前年同期比7.5%減）、セグメント利益は89百万円（前年同期比55.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は、324億13百万円（前連結会計年度末比17億円減）となりました。これは、震災の影響で出荷が止まり過剰となっていた在庫状況が解消し商品及び製品が3億10百万円、減価償却等により機械装置及び運搬具が5億69百万円、株価下落により投資有価証券が4億74百万円減少したこと等によるものであります。

[負債]

負債は、75億23百万円（前連結会計年度末比15億13百万円減）となりました。これは、震災の影響による生産の落ち込みから仕入が減少し支払手形及び買掛金が7億10百万円、未払金が3億55百万円、確定納税等により未払法人税等が2億94百万円減少したこと等によるものであります。

[純資産]

純資産は、248億90百万円（前連結会計年度末比1億87百万円減）となりました。これは、為替換算調整勘定が69百万円増加した一方で、株価下落によりその他有価証券評価差額金が2億84百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、72億15百万円（前連結会計年度末比4億1百万円減）となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、8億77百万円の収入（前年同期間比7億26百万円減）となりました。これは税金等調整前四半期純利益（5億12百万円）や減価償却費（10億70百万円）等の増加要因に対し、仕入債務の減少（6億82百万円）と法人税等の支払額（5億27百万円）等の減少要因があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億5百万円の支出（前年同期間は12億円の支出）となりました。これは、主に固定資産の取得による支出（8億6百万円）があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億66百万円の支出（前年同期間は7億61百万円の支出）となりました。これは、主に短期借入金の減少（1億13百万円）と配当金の支払（2億54百万円）があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年7月15日に発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であるSUNCALL CO., (H. K.) LTD. が100%出資子会社Suncall Technologies (SZ) Co., Ltd. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,767	7,365
受取手形及び売掛金	7,213	7,175
商品及び製品	1,342	1,032
仕掛品	1,310	1,251
原材料及び貯蔵品	1,102	1,104
その他	456	422
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	19,191	18,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,386	3,302
機械装置及び運搬具（純額）	5,061	4,492
その他（純額）	2,500	2,631
有形固定資産合計	10,949	10,425
無形固定資産		
投資その他の資産	142	150
投資有価証券	3,441	2,967
その他	389	519
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,830	3,486
固定資産合計	14,922	14,062
資産合計	34,113	32,413
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,829	4,118
短期借入金	429	302
未払法人税等	499	205
役員賞与引当金	—	11
賞与引当金	352	401
その他	2,067	1,754
流動負債合計	8,178	6,793
固定負債		
長期借入金	17	—
退職給付引当金	473	474
その他	366	254
固定負債合計	858	729
負債合計	9,036	7,523

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,747	2,747
利益剰余金	17,689	17,699
自己株式	△921	△921
株主資本合計	24,324	24,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,304	1,020
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△653	△583
その他の包括利益累計額合計	650	436
新株予約権	102	120
純資産合計	25,077	24,890
負債純資産合計	34,113	32,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,196	14,883
売上原価	12,870	12,509
売上総利益	3,325	2,374
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	340	317
報酬及び給料手当	458	476
役員賞与引当金繰入額	11	11
賞与引当金繰入額	67	75
退職給付費用	51	55
その他	864	822
販売費及び一般管理費合計	1,794	1,759
営業利益	1,531	614
営業外収益		
受取配当金	25	30
物品売却益	39	29
その他	23	53
営業外収益合計	88	113
営業外費用		
為替差損	244	215
その他	11	12
営業外費用合計	255	228
経常利益	1,363	499
特別利益		
退職給付制度移行益	—	45
その他	2	0
特別利益合計	2	45
特別損失		
固定資産廃棄損	7	4
退職給付費用	43	—
過年度関税追徴損	—	27
その他	0	—
特別損失合計	51	31
税金等調整前四半期純利益	1,315	512
法人税、住民税及び事業税	515	235
法人税等調整額	3	14
法人税等合計	518	250
少数株主損益調整前四半期純利益	796	262
四半期純利益	796	262

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	796	262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△222	△284
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△39	69
その他の包括利益合計	△261	△214
四半期包括利益	534	48
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	534	48
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,315	512
減価償却費	1,148	1,070
引当金の増減額(△は減少)	33	61
受取利息及び受取配当金	△32	△36
支払利息	10	9
固定資産廃棄損	7	4
売上債権の増減額(△は増加)	82	23
たな卸資産の増減額(△は増加)	△672	356
仕入債務の増減額(△は減少)	502	△682
その他	△157	57
小計	2,238	1,378
利息及び配当金の受取額	32	35
利息の支払額	△10	△9
法人税等の支払額	△675	△527
法人税等の還付額	19	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,604	877
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,210	△806
固定資産の売却による収入	3	1
貸付金の回収による収入	6	2
その他	△0	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,200	△805
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△113
長期借入金の返済による支出	△35	△35
配当金の支払額	△390	△254
自己株式の取得による支出	△274	△0
その他	△60	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△761	△466
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△386	△401
現金及び現金同等物の期首残高	7,964	7,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,577	7,215

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	12,246	1,167	2,781	16,196	—	16,196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,106	1	380	1,488	△1,488	—
計	13,353	1,168	3,162	17,684	△1,488	16,196
セグメント利益又は損失	1,640	△14	199	1,825	△293	1,531

(注) 1. セグメント利益の調整額△293百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△296百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	11,343	907	2,632	14,883	—	14,883
セグメント間の内部売上高 又は振替高	843	1	293	1,138	△1,138	—
計	12,187	908	2,925	16,021	△1,138	14,883
セグメント利益又は損失	885	△78	89	897	△283	614

(注) 1. セグメント利益の調整額△283百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△275百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 製品区分別の売上業績

製品区分の名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増 減	
	自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日		自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日			
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	1,730	10.7	2,029	13.6	299	17.3
精密機能部品	9,366	57.8	7,496	50.4	△1,869	△20.0
サスペンション	2,116	13.1	2,409	16.2	293	13.9
プリンター関連	1,689	10.4	1,810	12.2	120	7.1
デジトロ精密部品	1,204	7.4	1,064	7.2	△140	△11.7
その他製品	89	0.6	72	0.4	△16	△18.9
合 計	16,196	100.0	14,883	100.0	△1,312	△8.1

[精密機能材料]

精密異形材料は前年実績を下回りましたが、弁ばね材料の輸出が第1四半期から引き続き好調であったことから20億29百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

[精密機能部品]

第2四半期に入り回復基調にありますが、第1四半期の落ち込みをカバーするまでには至らず74億96百万円（前年同期比20.0%減）となりました。

[サスペンション]

販売価格下落や超円高の影響を受けたものの販売数量が伸びたことから24億9百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

[プリンター関連]

チューブローラーは前年実績を下回りましたが、軽量タイプのローラーが前年実績を大きく上回ったことから18億10百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

[デジトロ精密部品]

複写機用部品は好調であったものの、光通信用部品が米国での需要後退から前年実績を下回り、切削部品も第1四半期以降低調であることから10億64百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,530	333	5,060	89	7,013
II 連結売上高（百万円）					16,196
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	9.5	2.1	31.2	0.6	43.3

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,274	588	5,313	99	7,276
II 連結売上高（百万円）					14,883
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	8.6	4.0	35.7	0.7	48.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ……米国、カナダ、メキシコ

(2) ヨーロッパ……ドイツ、スイス、オランダ

(3) アジア……中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア

(4) その他の地域……ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。